

申述べた次第であります。(拍手起る)

参考

職工及び人夫数は概略左の如くであります。

萍郷	約	一〇、〇〇〇
漢陽	同	二、〇〇〇
大冶鐵山	同	二、〇〇〇
大冶鐵廠	同	一、五〇〇
勞銀	元	元
職長	二、二〇—三、〇〇	

大冶附近の鐵山に就て

西澤公雄

熟練工 〇、八〇
 平職 〇、四〇—〇、五〇
 苦力 〇、二〇—〇、三〇

○會長(俄國一君)ちよつと御挨拶いたします、先程服部博士が支那の製鐵業に付きまして鑛々御話下さいました、誠に支那の全體の製鐵業、殊に漢冶萍の仕事に付きまして大變面白く拜聴いたしました、大に會員一同を啓發せられたことと思ひます、殊に服部博士には會長から支那の上海に御滞在中殆どこちらから決めて掛つて御願したやうな理で、誠に相濟まないことでありました、それにも拘らず快く御承諾下さいまして、今晚御講演下さつた次第であります。茲に服部博士に對しまして、會員一同に代つて御禮を申し上げます、どうか皆様も拍手を以て、御贊同の意を表されんことを願ひます。(一同拍手)

今回支那號發刊の御計畫あるに付態々河村會長より支那製鐵事業に關係ある會員より寄稿を致すよう依頼せられましたにつき、私も何にか申上げることになりました、私は御承知の通り明治三十年十月より支那に雇聘せられました以來、尼掛二十八年になります、最早大冶一地のみにも二十五年に在りますので、先月支那官民から熱誠なる勧誘に基きまして在治二十五年記念祝賀會を催しましたような次第にて、支那各地方に足跡を印しまして支那の人情風俗は殆んど機微に通ずると言ふように成りましたのでございます、今回は大冶附近の鐵山と云ふ題目の下に一寸申上げようと思ひます。

大冶鐵山の附近に象鼻山と申す鐵山がございます是は二十

大冶附近の鐵山に就て

年程前に故兩湖總督張之洞氏の依頼を受けまして、僅かに五百圓計りにて大冶地方人民から購入したものでございます、勿論總督は之を購入すると同時に我邦と或種の關係を結びたいと考へて居りましたが、丁度其時張氏は北京軍機大臣に榮轉し、且つ列強の反對にて本邦との關係は圓滿に結ばれなかつたのでございます、其れ故に象鼻山は今では湖北省有となつて居りまして人民の所有ではございませぬ、其後漢冶萍公司當局に向つて同山を所有することの有利なることを勧めましたが、遂に其事は行はれませんでした、歐洲戦争の當時、鐵價日に漲り、鑛價月に騰るに方りまして、本邦の各實業家は競ふて之を得んと試み、米國亦大に野心を逞く致しました

が、東亞の事は東亞人に於て之を爲すべしとの日支人間の黙約で、米國の野心丈は成立するに至らなかつたのでございませ、然し湖北當局は戰時需要の鑛價を標準とし採算すれば非常の利益あるに想倒しまして、終に湖北官辦として象鼻山鑛を採掘することとなりました、勿論山元より之を楊子江岸に運搬する鐵路は殆んど大冶鐵路と並行し機關車荷車等は米國の捷成洋行及我が三菱から買入れました、扱て採掘運搬設備悉く完成した時は大戰恰も終局を告げ鐵價は急轉直下し製鐵事業は空前の寂寥蕭索を來しました、折角採掘したる鑛石も其販路なきに苦み經費は月に嵩み事業縮少を以て一時を糊塗する結局本邦に向て販路を求めざるべからざるに至りましたような譯でございませ、湖北前省長にして現に官礦局督辦たる何佩鎔氏は私の友人でもありませ、又同鐵山は大冶鐵山と聯絡せる磁鐵鑛で頗る良質でございませ、最初から種々の關係を持つて居りました、私は昨年以來何とか我邦に販路を周旋しようと思つて居りました、元來漢冶萍公司が地理の關係からでも所有せねばならなかつたので、之を所有したならば採掘上幾多の便益があつた事と常に考へて居りましたのでございませ、然し之を所有しませんでも同公司が此鑛石を購入し之を消化することゝなれば是亦至極時宜に適する處置と思ひませ、或は多分さうなるであらうと想像致して居ります、已に先月から大冶鐵路と象鼻鐵路との聯絡工事を急ぎつゝあるのであります。

象鼻鑛は一時秦皇島に計劃せられんとせし英國製鐵所の原料として此方面に開採石炭を販賣すると同時に其歸り荷に象鑛を積載すると云ふ案も曾て我視聽を聳かしたことがござい

まするし、米國の資本を投じ大冶附近に一大製鐵所を創立し象鑛の大採掘を計劃せられたることも今は一場の夢と化しました、漢冶萍公司の前幹部を株主とし漢口の下流に位置する楊子江機器局公司内に一日百噸計りの出銑を見る鎔鑛爐がございませ、此公司の原料は悉く象鑛を使用するのでございませ。

大冶より長江を溯ること約二十餘哩にして黃州城に達します、此城外は古來人口に膾炙致します赤壁でございませ、八百何十年前に於て一世の文豪蘇東坡の舟遊を以て殊に赤壁の賦を以て天下に著名となつた所でございませ、勿論今は赤壁の賦にあるような奇景絶趣もございませぬ、長江の流れは變じて反對側を深くし所謂蒼海は桑田に變じたやうな心地が致します、全く長江から陸續きで三四町を距る赤土山であるのでございませ。

此對岸は武昌縣（當今は鄂城縣と稱す）で、其城外に西山雷山と申す高さ二三百メートルの鐵山がございませ、曾て二十一年前赤壁に月を賞せんとして同士を誘ふて舟遊を企てましたことがございませ、其時偶然にも私は此鐵山即ち赤鐵鑛であることを發見致しました、當時直に之を我が當局並に當時の漢冶萍公司の當事者に通知致しまして其注意を催しましたことがございませ、矢張り歐洲大戰中支那官民にも各方面より鐵鑛の需要頻繁となりました動機から亦銳意探鑛の必要を感じました其結果、此鐵山を見付けましたのでございませ、湖北の政事家湯化龍氏（其後米國に於て刺客に殺さる）等は民間の資本を募集して鑛業會社を起し盛に此山を採掘し同時に製鐵會社を創立せんと試みましたが遂に成立する

に至らなかつたのです、之れと前後して故袁世凱氏は鐵鑛の國有を主張し民間會社が外資を容るゝこと、外國技師を雇入るゝこと、外國に鐵鑛を賣捌くこと等を禁止したものでございます、此關係から日支合辦事業若しくは支那鐵石購買等に大影響を及ぼしたることは尙諸君の記憶に新なることと思ひます。

時代は一轉化し却て此鑛山も我資本を用ゐて採掘せんとの運動をなすものあるに至りましたが、土地の人民に開掘派と否開掘派を生じ頗る軋轢排擠を逞しくして居ります、此鑛山は楊子江岸は即ち露頭となつて居りますから採掘すれば江水内地に氾濫するとの異議を生じたり、或は祖先の墳墓を汚す等の抗議があります、湖北督軍肅耀南氏は地下の寶庫を開き大に民生を幸福にするとの意見に基き先般已に採掘許可證を下付致しましたさうでございます、然し販路は未だ確定して居らぬやうでございますから、需要の途未だ定らざる以前に供給の資本空乏に瀕することがなければ幸であると思ひ心配して居るのでございます、成程此鐵山の採掘には設備に對する資本は餘り入るまいと思ひます、江岸の露頭を開掘するには極めて便利あるも排水法を講ぜざれば人民の反抗恐るべきものがあらうと思ひます。

銀山頭 此山は全鑛石皆光輝を帯び居るを以て二十五年前私の赴任當時は土地の人民が銀鑛であらうと云ふて賣捌方を我に依頼したものです、前述の西山鐵山より西方十二三哩にして大冶武昌縣界に位置します雲母鐵鑛でございます、現に湖北省有でありまして革命起義の後には此鑛石を賣つて一時財政窮乏を救はんとしたものでしたが、其効果は有りません

でした、露頭は數十萬噸以内だらうと思ひます、其質は頗ぶる良好で含有不純物は甚だ僅少ですから木炭銑の原料として瑞典鑛石に勝つて居ると支配人は申して居ります、故盛宣懷氏は生前故張之洞氏と此鑛石の供給に就ては特種の關係を結んで居つたのでございます。

靈鄉鐵山 大冶鐵道中央驛「下陸」を西南に距ること約二十哩にして山麓に達します、途中大冶縣城を通過し大冶縣界を超えて鄂城縣域に入るものです、此の附近の縣道に悉く古代鑛滓を見ること夥しく、唐宋時代製鐵業の旺盛を偲ばしめ、大冶鐵山發見の獨逸技師の古智に倣ひ屢々此方面に就て探鑛を行ひましたが孰れも奏効せしものはございませんでした、其より二ヶ年後偶然此露頭を發見することとなりました、此鑛山は磁鐵鑛で巨大なる數多の露頭を有します、露頭鐵鑛の大部分は古苔を以て被覆せられ鐵鑛として識別するところが出来なかつたのでございます、漢冶萍公司是地方人民から約其鑛山の六割を購入致しました、恰も會長盛宣懷氏は病床に呻吟して居りましたが、此大露頭の購入に就て非常に安心したやうであつたと聞きましたが幾くもなく死去しました、其より判斷致しますると盛氏は鑛量のことには就ては常に甚大の注意を怠らなかつたものと見えます。

北京大總統袁世凱氏及湖北省官場に於ては同鐵山の良質にして鑛量亦夥しきを聞き鐵鑛國有の見地から致しまして人民に靈鄉鑛區の賣渡を禁止しました、北京政府も湖北官場も其後別に積極的處分は致しませんでした、人民は今尙公司の買収を盼切して居ります、然し政府の命令もあることとして孰れも手を染めは致しません、湖北官民と公司との合辦稼行の談

も相當進捗しましたけれども未だに成立は致しません、何分湖北省は多數の政事家を出して居りますから往々議論百出實際と遠ざかるやうな形勢が見えますので私は官民兩方面に多數の友人を持ちまする關係から種々調停の勞を取りつゝあるのをごさいます。尤も東洋方面に於ける製鐵業は近來不景氣のどん底に沈んで居りますから遽かに此鑛山を開掘しても販路はとても急には得られまいと思ふのですが、只鑛區の所有は今の内完全に決定して置いた方が宜しからうと考へます。

銅嶺山 大冶の下流右岸約二十五哩の江西湖北兩省の境界附近にある鐵山でございます、磁鐵鑛で露頭鑛量約一千萬噸あると申します、現今公司の舊株主某の所有となつて居ります、此附近には尙多數の鐵山がありますからして之を一會社にまとめ稼行すれば宜しからうと思ひます。要するに支那に於て二三千萬弗の大資本を有する漢冶萍公司の如き株式會社は此後とても容易に出来る見込はなからうと思ひます、故に公司は大冶を中心として此附近の鐵鑛は當然公司の手に依

石炭輸出港としての青島の價值に就て

千住直次

(要旨) 本邦石炭埋藏量の貧弱にして餘命幾程もなき現状

を述べて將來我國の石炭補給策としては帝國位置の關係上、是非共之を支那より輸入するの必要ある可く、就中青島は此の意味に於て最も囑目に値することを述べんとす。

て之を處置するの覺悟がなくてはなりません、又北京及地方官民も支那に於ける此種の公司を保護し之を發展せしめ以て國利民福を企圖せねばならないものであらうと思ふのです。濫りに人民の事業を猜疑し或は政争の具に供し折角勃興しかつて居ります鑛業を妨害し之を挫折せしめ又は萎縮せしめなどすることがありましては、善隣の爲に最も之を惜むものごさいます。我邦人に在つても唯口にのみ同文同種日支親善を稱ふるばかりでなく、心から支那人を敬愛し共存共榮の見地から支那人と握手せねばなりません、往々一攫千金の感を以て支那に來るものは胸中に國家なく將來の大局を打算するの明察を缺き唯自己の私慾にのみ執着し眼前姑息の策に齷齪し遂に何事も纏め得ざるのみならず折角多年築き上げられた親善さへも破壊するに至るのでございます、支那に臨み支那人相手に仕事を爲さんとするものは深く鑑み大に警戒注意する所がなくてはなりません。(五月二日稿)

我國に於ける石炭埋藏量は去る明治四十二年農商務省の調査發表せし所に依れば大體左の如し。